

第 241 号 発行日 平成 29 年 2 月 7 日

合格通信

今
月
の
名
言

人生における最優先事項は成し遂げたい目標を持って事にあたることだ。

— パブロ・カザルス —
(スペインチェロ演奏家)

私立、公立前期も終了し、私立は結果も出ております。あとは前期の発表が 2/9 にあり、後期入試は 3/8 と残り 1 か月となりました。直前のこの時期は新しい問題集などには手を付けず、今までやってきた教材を繰り返しみましょう。どんな試験にも 100%完璧なものなどありません。あれこれやってもまだ足りないと思うものが出てくるものです。いまは「この問題を解くのはこれで最後かもしれない」という気持ちで取り組んでください。また 1・2 年生は「学年末考査」直前となりました。1・2 学期を振り返り、同じミスを繰り返さないように、残り時間を考えて計画的に万全の態勢で臨めるよう、頑張ってください。



「目の前の人参は有効か」

子どもに勉強させるために、あれこれ作戦を考える親は多いのですが、ご褒美を与えて勉強させることに罪悪感を感じる親も多いかと思います。しかし、それがお金であっても金額や与え方が間違っていなければ、決して悪いことではないようです。小学生ぐらいまでは、安価な物でもやる気を出しますし、中学生以上でも大金でなければ問題ないようです。お金を与えるときに親が使い方を金融教育することで、貯金したり、無駄遣いをしなくなったり、計画的に使ったりといった、より堅実にお金の使い方を学ばせることもできます。

どういう条件で、ご褒美を出せばよいかは例えば「次の試験で良い点を取ったら 1,000 円あげるよ」と「問題集を 30 ページやったら 1,000 円あげるよ」ではどちらが有効かは、後者のようです。前者は不確実性があるのに対して、後者は勉強が終わったら、すぐにお小遣いがもらえ、確実に実行できる可能性が高いからです。遠い将来より近い将来、目の前にある利益を優先させる傾向があります。「良い点を取ったら」はまず、「何をどうして良いかわからない」という勉強法がわからない、といった問題もありますが「問題集を…」ならすぐに取りかかれるからです。では現実に「良い点を取ったら…」と「問題集を…」とではどちらが成績が上がるかという米国内で実施した実験データからこれも後者なのです。

「目の前の人参」は勉強を後回しにさせないためにも、有効な戦略です。